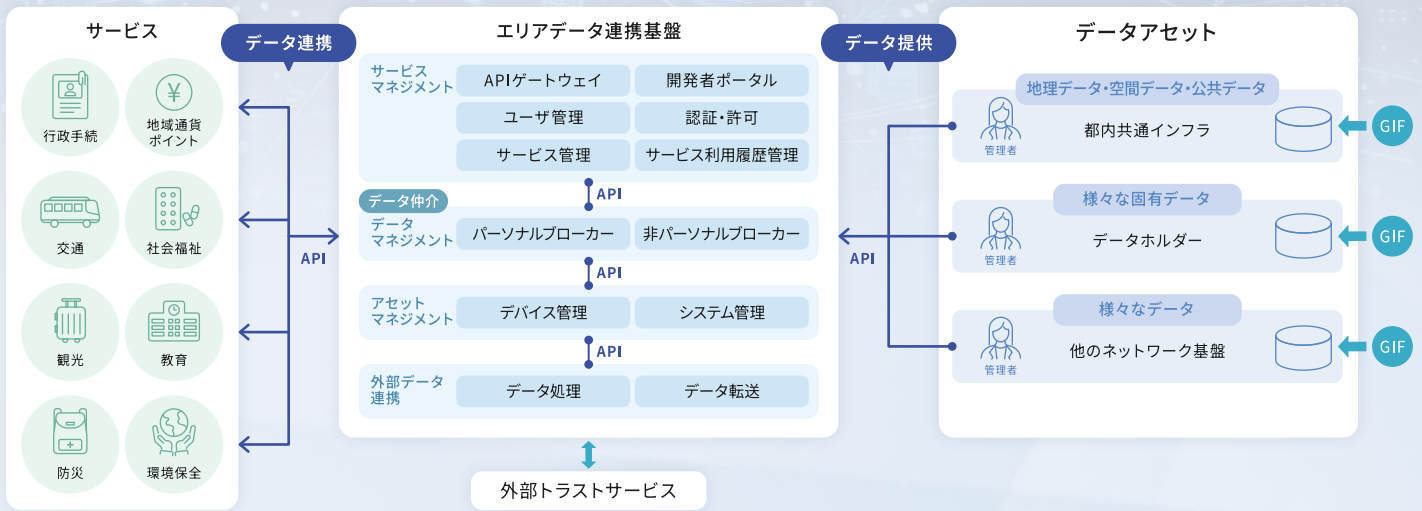


データのチカラで 地域を豊かに

「データ連携基盤」は、暮らしを支える様々なサービスの中で、必要なデータの連携・共有を進めることにより、個人のニーズに最適なサービスを実現します。

官民データ連携基盤とは

自治体や企業、大学など多様な主体から提供されるデータを集約し、複数のサービス間で横断的に活用したり、新サービスの創出につなげるための基盤



出典：新しい地方経済・生活環境創生交付金 デジタル実装型 TYPE1/V/S 制度概要（内閣府 地方創生推進室、内閣官房 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局内閣官房 デジタル行政改革会議事務局、デジタル庁 国民向けサービスグループ）を用いて県が作成

データ連携基盤で実現できること

さまざまなデータの活用

ゆりかごから墓場まで、デジタルの力で教育から生活、医療に至るまで最先端のサービスを提供するために、一元的なデータ連携基盤の整備を促進します。



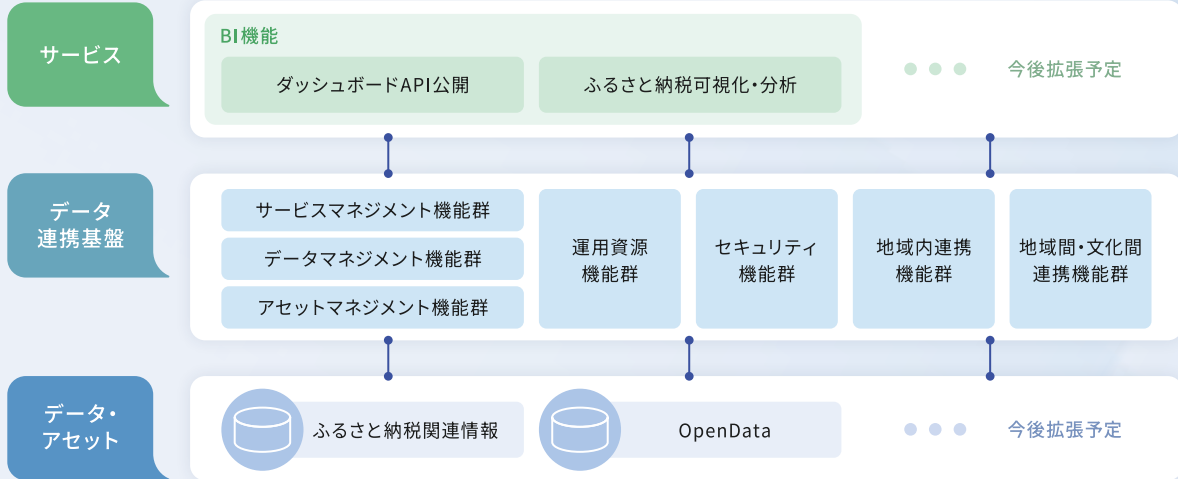
出典：出典：データ連携基盤の整備について（デジタル庁）

福岡県官民データ連携基盤とは

- ◆ 福岡県や市町村が公開しているオープンデータ等のデータを収集・蓄積し、連携基盤でデータ分析が可能。
- ◆ APIやダッシュボードによる公開により、県下市町村、民間事業者、一般の方のデータ活用を推進。
- ◆ 2025年4月運用開始。

福岡県官民データ連携基盤

2025年4月1日時点

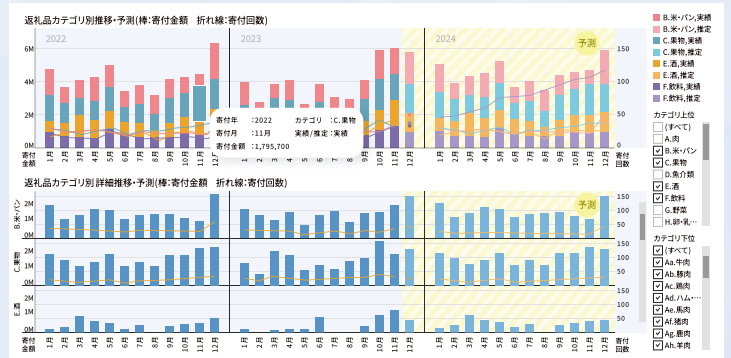


福岡県ダッシュボード



複数のオープンデータをWeb上で視覚的に分かりやすい地図形式で把握できる。福岡県内の公共施設の情報や、避難所一覧、保育所一覧に関する情報を連携して、Web上のダッシュボードから地図形式で見ることが可能。

ふるさと納税可視化・分析サービス



市町村が保有しているふるさと納税情報（寄附データ、PR実績など）を基に、将来の需要予測などのAIを用いた高度な分析が可能。市町村は地域資源の有効活用及び地域事業者への適切な支援を行うことを可能にし、地域ブランドの強化を実現。

今後の取組について

官民がデータ利活用のために活用可能な基盤を県が運営することで、県内広域でのデジタル化を推進し、便利で豊かな県民生活の実現を目指していきます。今後、市町村や企業、大学等との検討を進め、実装サービスを段階的に拡張していきます。

問い合わせ先

福岡県企画・地域振興部情報政策課デジタル戦略推進室戦略推進係
福岡県福岡市博多区東公園7-7
E-mail: data-kiban@pref.fukuoka.lg.jp
福岡県データ連携基盤専用サイト: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/data-kiban.html>